

ソニー・太陽(株) インクルージョン・ワークショップ



開催日：2014年2月8日

開催地：コンパルホール(市民が集う地域のコミュニケーション空間) 大分県大分市

主催：少年少女科学体験スペース O-Labo (大分県教育委員会)

ソニー・太陽株式会社／後援：公益財団法人ソニー教育財団

参加者：大分県内の小学生 21名 保護者 23名

ソニー・太陽は、全社員の約67パーセントを障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社でソニー圏国内唯一のマイクロホン基幹工場です。直接業務・間接業務問わず、各部署に障がいのある社員が在籍しており、それぞれの個性や能力をいかして活躍しております。

インクルージョン・ワークショップとは、障がいのあるなしに関係なく、ダイバーシティ&インクルージョン(一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること)を体験することにより、一人ひとりの多様な個性に気づききっかけを学び、相互理解を深めてもらうと同時にソニー・サイエンスプログラムの主旨でもある科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラムです。

また、ものづくり教室の他に、会社見学会・交流会や講演会なども行っています。今回は、大分県教育委員会より要請を受け、「ペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホン」の製作に挑戦して頂きました。



今回も小学校低学年は親子での工作になります。



高学年になるとひとりでテキパキこなします。





お父さんやお母さん、スタッフに教えてもらいながら工作を進めていきます。



とても真剣なまなざしですね！



徐々にヘッドホンらしい形になってきました。



ここで一旦試し聴きです。みんな無事に聴こえているようですね！



作ったペットボトルヘッドホンの構造をもとに、音が鳴るしくみを林先生が分かりやすく説明しました。
みんな一生懸命に聞いていました！わかったかな？？



家から持ってきた牛乳パックでヘッドバンドの組立です！
この後にデコレーション、記念撮影、周波数のお勉強、修了証授与が行われ全てのプログラムは終了となりました。
みなさん、お疲れ様でした！！

アンケートより抜粋

子どもたちから（複数回答あり）

1) どんなところが楽しかったですか？

第1位 デコレーション 11人

第2位 ヘッドホン作り 5人

2) 驚いたことはありましたか？

第1位 音が鳴って驚いた 6人

第2位 音の仕組み 2人

第2位 身近な材料でヘッドホンができたこと 2人

保護者より

- ・ただ作って終わりではなく、音の伝わるしくみを教えて頂いたのが面白かったです。
- ・あまり難しい作業はないのに本格的な物が出来て驚きました。音の説明もとても分かりやすかったです。
- ・難しいようでしたが、楽しく学べる機会ができて良かったです。